

宮路拓馬 国会通信

■ 初当選から一年 「初心忘れず」で決意新たに

去る12月14日、昨年末の総選挙において皆様からのご支援により初当選させていただいてから丸一年が経過しました。

この一年間、衆議院本会議場「一丁目一番地」において、農林水産業の振興とエネルギー政策の推進を当面の二本の柱としつつ、経済再生と地方創生を実現することで人口減少を克服し、より良い故郷と日本を将来の世代に引き継いでいくため、一年生議員として政治活動に邁進してまいりました。

二年目以降も、初心を忘れず、後援会の皆様をはじめ、支えていただいているすべての方々に感謝しつつ、謙虚に真っ直ぐに、「明日の鹿児島を、日本の未来を切り拓く」という強い気持ちで頑張っ

てまいります！
今後とも、ご指導・ご支援のほど、よろしくお願いたします！



(平成26年12月24日 衆議院玄関)

■ 第3回 宮路拓馬と国政を語る会 エネルギー政策を学ぶ

12月8日には、「第3回 衆議院議員宮路拓馬と国政を語る会」を開催し、多くの方にご出席いただきました。

当日は、原子力安全研究協会技術顧問の朽山(とちやま)修先生を講師に迎え、「放射性廃棄物の最終処分と原子力政策」と題してお話を伺いました。

安倍総理は、①希望を生み出す強い経済、②夢を紡ぐ子育て支援、③安心につながる社会保障の「新3本の矢」で、日本社会の構造的課題ともいえる少子高齢化問題に正面から取り組み、一億総活躍社会の実現を目指しています。その基となる「強い経済」をつくるには、確かなエネルギー政策が不可欠です。

選挙区内に川内原子力発電所を有する国会議員として、安全性の確保を大前提としつつ、国民の皆様から理解される原子力政策とするため、放射性廃棄物(使用済み核燃料)の最終処分についても引き続き真剣に取り組んでまいります！



(12月8日 都内会場)

■ 自民党畜酪小委事務局次長に就任 南九州三県を視察

今回の党役員人事を受け、この度、自民党 政務調査会 農林部会 畜産・酪農対策小委員会の事務局次長を仰せつかりました。先般のTPPの大筋合意を受け、「我が国の畜産・酪農をいかに明日に希望が持てるものとしていくか」が問われる最も重要な時期に党の正式な組織の事務局次長を拝命し、責任の重さを実感しております。

そのような中、来年度の畜産物価格の決定に向け、小泉進次郎農林部長や坂本哲志畜酪小委員長とともに、12月6・7日の2日間の日程で、鹿児島・宮崎・熊本の南九州三県の視察を行いました。

地元の鹿児島では、日置市の肥育農家である榎園畜産を現地視察した後、中央公民館において意見交換を行い、肉用牛の繁殖・肥育、酪農、養豚、養鶏の各農家の皆様から現場の声をお聞きするとともに、各団体の代表者の皆様からのご要請をお受けしました。

TPPに対する生産者の皆様の不安を払拭し、意欲を持って畜産・酪農に取り組んでいただけるよう頑張っております！



(12月7日 宮崎県肉用牛繁殖農場)

■ 自民党立党60年記念式典 参院選勝利へ一致結束

11月29日、自民党結党60年の記念式典が開催されました。

安倍晋三首相は、「自民党は、日本人の命と幸せな暮らしを守り抜くという最も大切な責任を果たしてきた政党で

あり、『議論を経た結果に責任ある行動をとる』という信念が歴史を繋いできた」と訴え、来年の参議院選挙に向けて一致結束・前進を呼びかけました。

なお、式典のオープニングでは、ラグビー日本代表の五郎丸歩選手が特別ゲストとして登場し、会場からは一斉に歓声とどよめきが起こりました。

私も、安倍政権が掲げる「1億総活躍社会の実現」と参議院選挙の勝利に向け頑張っております！



(11月29日 都内会場)

■ 平成28年度税制改正大綱決定 軽減税率制度を導入

12月16日、政府・与党は平成28年度税制改正大綱を決定しました。

最大の焦点であった軽減税率制度については、平成29年4月の消費税10%への引き上げ時に導入し、酒類、外食を除く生鮮食品と加工食品のほか、週2回以上発行する新聞を定期購読する場合の税率を8%に据え置くこととしました。

今後、国会に関連法案を提出するまでの間に、対象品目の線引きの問題にはじまり、経理方式や中小事業者の事務負担の軽減策、代替財源の確保など、さらに細部を詰めていく必要がありますが、何よりも大切なことは、事業者や消費者をはじめとする国民の皆様のご理解をいただきながら、混乱することなく円滑に制度の導入を図ることです。

今後とも、国民の皆様理解される時代に適した税制を構築するため頑張っております！